

主要事業 PICK UP! 令和6年度当初

予算

可決

賛成 11 反対 2

福祉医療事業

1億9,878万円

すべての子どもが安心して必要な医療が受けられるよう、子ども医療費助成制度を令和6年4月から高校生世代まで拡大。これにより、入院・通院ともに、医療費自己負担がゼロになる。

国スポ・障スポ開催推進事業

7,166万円

2025年開催予定の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」は、県内で正式競技として37競技が開催され、本町はアーチェリー競技の会場地として44年ぶりの「びわこ国体」と同じスポーツセンター秦荘グラウンドでの開催となる。



アーチェリー競技会場のスポーツセンター秦荘グラウンド

- 第63回近畿高等学校アーチェリー選手権大会 (リハーサル大会)
令和6年7月20日(土)～21日(日)
- 本大会
令和7年10月5日(日)～7日(火)
- 本大会(障がい者スポーツ大会)
令和7年10月26日

庁舎等リニューアル事業

3億6,683万円



整備中の新保健センター(7月頃運用開始予定)

公共施設の最適配置の取り組みとして、引き続き両庁舎の改修および保健センターの建設を進める。庁舎の改修工事、愛知川庁舎への機能移転作業、秦荘支所の開設などを実施。

- 令和6年8月中 全ての課を愛知川庁舎に配置
- ↓
- 令和6年9月 秦荘支所開設
- ↓
- 令和7年1月 庁舎等リニューアル工事完了

予算規模

一般会計	108億 400万円	[前年度比▲0.1%]
特別会計	37億9,767万円	[前年度比+2.4%]
下水道事業会計	18億5,738万円	[前年度比+1.8%]

予算編成

令和6年度は、第2次愛荘町総合計画に掲げるめざすまちの姿「愛着と誇り。人とまちが共に輝く 美しい創生のまち。」の実現に向け、重点戦略である「ひとづくり」「しごとづくり」「まちづくり」の3つのプロジェクトの実施に向けた必要な施策・事業に対し、重点的に予算を配分するとともに、国の「こども未来戦略方針」に基づく子ども政策をはじめ、「デジタル田園都市国家構想」に基づく地方創生施策などを盛り込んだ予算編成となった。

さらに、公共施設等の最適配置はもとより、住民サービスをはじめとする業務の効率化にかかるデジタル実装を継続的に進めるとともに、年々費用負担が増大する社会保障関係経費や公共施設・インフラにおける老朽化対策、福祉や教育、暮らしの安全、防災・減災など、住民生活に不可欠なサービスを安定的に提供するための施策に予算を配分し、未来志向のまちづくりの着実な推進と基礎的な行政サービスの確保・充実の両立を図るなど、町政のより一層の発展に向けた施策を展開する。

重点施策

- 子どもを真ん中におき、子どもを安心して生み育てる環境整備に加え、体系的なキャリア教育を推進することで、子どもたちが自分らしく生きる力を身につけ、自ら学び考える力を育むための取り組みを進める。
- 持続的で魅力的な地域づくりとともに、交流人口から多様な形で本町に継続的に関わる関係人口へと発展する取組を進め、自身が活躍できる場として、ソーシャルビジネスの担い手となる人材や団体等が継続的に供給される環境の創出に取り組む。
- 「国スポ・障スポ2025」の開催に向けた一体的なプロモーション戦略の実施に加え、まちの認知度・魅力度を高め、新たな人の流れを創出する。
- 庁舎リニューアルに伴う利便性の高い行政サービスを提供するとともに、地域における防犯・防災力を高め、安全で安心な地域社会の構築に取り組む。